

環境対策と産業振興について。財産、広大な森林の有効活用

高橋 聖悟



問 間伐など、森林整備のカーボンオフセットによるオフセットクレジット制度の利用で、環境対策とさらなる雇用拡大、経済活性化を図ってみてはどうか。

答 「オフセットクレジット」とは、間伐による森林整備をすることによって、温室効果ガスの吸収量を高め、その吸収量を売買するために、吸収量に金銭的価値を与え、クレジットとして市場を流通させるための制度。

答 間伐については年間100ha実施し、二酸化炭素削減と雇用は確保している。オフセットクレジット制度についての事例は、承知しているのですが、先進事例や、県の動向をみて検討したい。

問 市街地再開発事業の中の公共施設については、賑わい、人の流れ等を求めるものと理解している。しかし、設置しようとしているものが果たして、開発の理念に沿うものか疑問である。内容、手法をもう少し精査すべきと思うが。

答 公共施設は、趣味や活動の場を広げるための拠点として考えている。それを有効利用してもらうため、今年

4月に準備室を立ち上げている。それによってさらに価値を高めたい。

問 高齢者の交通事故防止対策について。

答 広報活動だけでなく、参加実践型の交通安全対策も実施していく。

問 高齢者の交通事故防止対策として、運転免許返納制度もあるが、それを活用した人への移動手段の支援も必要ではないか。

答 市内全般の公共交通システムを考え、その中で対処していく。



間伐による森林整備

●その他の質問
○駅前公共施設の駐車場整備について

本庁機能の集約について

佐藤 功



問 本庁機能の集約について。集約化案については、昨年度、庁内で検討した結果や手法について、将来を見据えた市役所機能や効率性、経費面など、再度多面的にチェックしているところである。

問 横手市の西地区のまちづくりについて。道路の幅員が4mあれば住宅確認申請を許可せざるを得ない。こんな形で住宅が立ち並んでゆくと後年何百億円もかけて区画整理事業を起こさなければならなくなる。後年度の区画整理事業の負担をさけるために都市計画指導図を作って市民や開発者を指導してゆくべきと思うがいかがか。

答 開発行為を計画された申請者とは事前協議を行い、道路の連続性などの良好な環境と街並みの整備につながるよう協力いただいている。都市計画指導図は、土地等に一定の制限を課すことになるので、法的根拠や土地所有者の同意など、調整項目が多いため、可能かどうか今後研究していく。

問 子宮頸がん予防ワクチン

の集団接種について。がんはなかなか治りにくい病気であるが、子宮頸がんはワクチンで95%の方々が予防できると言われている。少子化対策と女性を救うために、ワクチンを公費助成し無料で集団接種すべきと思うがどうか。

答 がん検診の受診率向上に努めながら、子宮頸がんを含めてこの地域の方々の健康増進策がどうあるべきか考えていかなければならない。他市においてはワクチン助成に取り組み自治体が少しずつ増えてきている。福祉に関わる様々な予算の中でどう捻出するのか、知恵と努力と汗も議会と一緒にかなければならない。そういう検討も進めながらしっかりと考えていきたい。



横手地域局